

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/011899

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl⁷ G06F17/60Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2002-373214 A (Haruyoshi FUJIWARA), 26 December, 2002 (26.12.02), Full text; all drawings (Family: none)	1-6
Y	Hiroshi HOSHINO, "Contents no Fukugoteki Kenri Kijutsu ni yoru Kenri Hogo to Ryutsu Shien", Joho Shori Gakkai Kenkyu Hokoku, JP, Information Processing Society of Japan, 19 September, 1998 (19.09.98), Vol.98, No.85, 1-8	1-6
Y	JP 9-73487 A (Fujitsu Ltd.), 18 March, 1997 (18.03.97), Full text; all drawings & EP 760505 A2 & US 5884280 A	1-6

 Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 September, 2004 (14.09.04)Date of mailing of the international search report
28 September, 2004 (28.09.04)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/011899

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2003-228635 A (Japanese Society for Rights of Authors, Composers and Publishers), 15 August, 2003 (15.08.03), Par. Nos. [0004] to [0005] (Family: none)	2
Y	JP 11-353320 A (Omron Corp.), 24 December, 1999 (24.12.99), Par. No. [0060] (Family: none)	4

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int. Cl. 7 G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int. Cl. 7 G06F17/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2004年
日本国登録実用新案公報	1994-2004年
日本国実用新案登録公報	1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2002-373214 A (藤原 大巣) 2002. 12. 26, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-6
Y	星野寛, コンテンツの複合的権利記述による権利保護と流通支援, 情報処理学会研究報告, 日本, 社団法人情報処理学会, 1998年 9月19日, 第98巻 第85号, 1~8	1-6
Y	JP 9-73487 A (富士通株式会社) 1997. 03. 18, 全文, 全図 & EP 760505 A2 & US 5884280 A	1-6

 C欄の続きにも文献が列挙されている。 パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

14. 09. 2004

国際調査報告の発送日

2004. 09. 2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号 100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

山下 達也

5 L 9645

電話番号 03-3581-1101 内線 3560

C(続き) 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 2003-228635 A (社団法人日本音楽著作権協会) 2003. 08. 15, 【0004】 - 【0005】 (ファミリーなし)	2
Y	JP 11-353320 A (オムロン株式会社) 1999. 12. 24, 【0060】 (ファミリーなし)	4

明細書

権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラム 技術分野

[0001] 本発明は、楽曲の著作権等の権利を管理する権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラムに関する。

背景技術

[0002] 知的財産権には、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権などが含まれる。特許権などは登録により権利が発生し、特許公報等により公開されるので、検索や参照が比較的容易となっているが、著作権は創作により権利が発生するため、これらをデータベース化することは困難である。又、一つの創作物に対して、特許権と意匠権など異なる権利が発生する場合がある。これらの知的財産権を一括管理するために、知的財産権の登録、監視、利用許諾を行う知的財産権管理システムについては、開示されている(例えば、特開2001-282947号公報参照。)。

[0003] しかし、著作権については、一つの著作物に対し、複数の権利が発生する場合がある。例えば、一つの楽曲が創作され、実演家により演奏され、演奏された楽曲がレコードに固定された場合、創作した著作者が有する著作権、演奏した実演家が有する権利(実演家の権利)、最初にレコードに固定したレコード制作者(以下において、「原盤権者」という。)が有する権利(以下において、「原盤権」という。)、と3つの権利が発生する。

[0004] ユーザがこの楽曲を利用したい場合は、著作権、実演家の権利、原盤権の3つの権利の利用許諾を必要とする。又、これらの権利は移転が可能であり、現在のこれらの権利者は、楽曲を創作した著作者、実際に演奏などをした実演家、実際にレコードに固定した原盤権者とは異なる場合がある。更に、これらの権利の管理を他の管理会社などへ委託している場合がある。

[0005] この場合、ユーザは、楽曲を利用するため、誰の利用許諾を必要とするか判断し、それぞれの権利者と許諾交渉を行わなければならない。このように、ユーザは煩雑な手続が必要であった。

[0006] そこで、本発明は上記の問題点に鑑み、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができる権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラムを提供することを目的とする。

発明の開示

[0007] 上記目的を達成するため、本発明の第1の特徴は、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバであって、(a)楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む楽曲毎の権利情報、及び著作者、実演家及び原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持する楽曲データ保持部と、(b)楽曲の権利情報及び利用条件を楽曲データ保持部に登録する登録モジュールと、(c)楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する入力画面提示モジュールと、(d)楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索する検索モジュールと、(e)楽曲利用者側の端末装置に、検索モジュールによって検索された楽曲の利用条件を提示する条件提示モジュールと、(f)楽曲データ保持部に保持された利用条件に応じて、著作者、実演家及び原盤権者に、楽曲利用対価を配分する対価配分モジュールと、(g)楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する楽曲配信モジュールとを備える権利管理サーバであることを要旨とする。

[0008] 第1の特徴に係る権利管理サーバによると、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができる。

[0009] 又、第1の特徴に係る権利管理サーバの楽曲データ保持部は、著作権、実演家の権利及び原盤権の移転後の各権利者名、あるいは、著作権、実演家の権利及び原盤権の管理を委託された各管理者名を含む権利情報、及び、移転後の各権利者、あるいは、各管理者がそれぞれ受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持し、対価配分モジュールは、楽曲利用対価を、移転後の各権利者、あるいは、各管理者に配分してもよい。この権利管理サーバによると、現在の著作権、実演家の権

利及び原盤権の各権利者に対して利用許諾を容易に得ることができる。

[0010] 又、第1の特徴に係る権利管理サーバの入力画面提示モジュールは、利用を希望する楽曲の利用条件を入力する画面を楽曲利用者側の端末装置に提示し、検索モジュールは、楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名及び利用条件に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索してもよい。この権利管理サーバによると、楽曲利用者側が提示した利用条件に合致した利用条件を提示するサーチエンジン機能を有することができる。

[0011] 又、第1の特徴に係る権利管理サーバの楽曲配信モジュールは、楽曲の利用条件を記載した契約内容ファイルを添付して、楽曲を配信してもよい。この権利管理サーバによると、容易に契約内容の立証をすることができる。

[0012] 本発明の第2の特徴は、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバが、(a) 楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む楽曲毎の権利情報、及び著作者、実演家及び原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を楽曲データ保持部に登録するステップと、(b) 楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示するステップと、(c) 楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索するステップと、(d) 楽曲利用者側の端末装置に、検索するステップによって検索された楽曲の利用条件を提示するステップと、(e) 楽曲データ保持部に保持された利用条件に応じて、著作者、実演家及び原盤権者に、楽曲利用対価を配分するステップと、(f) 楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信するステップとを含む権利管理方法であることを要旨とする。

[0013] 第2の特徴に係る権利管理方法によると、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができる。

[0014] 又、第2の特徴に係る権利管理方法の登録するステップにおいて、著作権、実演家の権利及び原盤権の移転後の各権利者名、あるいは、著作権、実演家の権利及び原盤権の管理を委託された各管理者名を含む権利情報、及び、移転後の各権利者

、あるいは、各管理者がそれぞれ受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を登録し、楽曲対価を配分するステップにおいて、楽曲利用対価を、移転後の各権利者、あるいは、各管理者に配分してもよい。この権利管理サーバによると、現在の著作権、実演家の権利及び原盤権の各権利者に対して利用許諾を容易に得ることができる。

[0015] 又、第2の特徴に係る権利管理方法の入力画面を提示するステップにおいて、利用を希望する楽曲の利用条件を入力する画面を楽曲利用者側の端末装置に提示し、検索するステップにおいて、楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名及び利用条件に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索してもよい。この権利管理方法によると、楽曲利用者側が提示した利用条件に合致した利用条件を提示するサーチエンジン機能を有することができる。

[0016] 又、第2の特徴に係る権利管理方法の楽曲を配信するステップにおいて、楽曲の利用条件を記載した契約内容ファイルを添付して、楽曲を配信してもよい。この権利管理方法によると、容易に契約内容の立証をすることができる。

[0017] 本発明の第3の特徴は、楽曲に関する著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバに、(a) 楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む楽曲毎の権利情報、及び著作者、実演家及び原盤権者それが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を楽曲データ保持部に登録する手順と、(b) 楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する手順と、(c) 楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索する手順と、(d) 楽曲利用者側の端末装置に、検索する手順によって検索された楽曲の利用条件を提示する手順と、(e) 楽曲データ保持部に保持された利用条件に応じて、著作者、実演家及び原盤権者に、楽曲利用対価を配分する手順と、(f) 楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する手順とを実行させることを権利管理プログラムであることを要旨とする。

[0018] 又、第3の特徴に係る権利管理プログラムの登録する手順において、著作権、実演

家の権利及び原盤権の移転後の各権利者名、あるいは、著作権、実演家の権利及び原盤権の管理を委託された各管理者名を含む権利情報、及び、移転後の各権利者、あるいは、各管理者がそれぞれ受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を登録し、楽曲対価を配分する手順において、楽曲利用対価を、移転後の各権利者、あるいは、各管理者に配分してもよい。

- [0019] 又、第3の特徴に係る権利管理プログラムの入力画面を提示する手順において、利用を希望する楽曲の利用条件を入力する画面を楽曲利用者側の端末装置に提示し、検索する手順において、楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名及び利用条件に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索してもよい。
- [0020] 又、第3の特徴に係る権利管理プログラムの楽曲を配信する手順において、楽曲の利用条件を記載した契約内容ファイルを添付して、楽曲を配信してもよい。
- [0021] 本発明の第3の特徴に係る権利管理プログラムを読み出すことにより、権利管理サーバ等に上記の手順を実行させることが可能となる。

図面の簡単な説明

- [0022] [図1]図1は、本実施形態に係る権利管理システムを説明する模式図である。
- [図2]図2は、本実施形態に係る権利管理システムの構成図である。
- [図3]図3は、本実施形態に係る権利管理サーバの構成図である。
- [図4]図4は、本実施形態に係る権利管理サーバが保持する楽曲データの一例である。
- [図5]図5は、本実施形態に係る権利管理方法のフローチャートである。
- [図6]図6は、本実施形態に係る権利管理方法のタイムチャートである。
- [図7]図7は、本実施形態に係る権利管理方法において端末装置に表示される画面例である。

発明を実施するための最良の形態

- [0023] 次に、図面を参照して、本発明の実施の形態を説明する。以下の図面の記載において、同一又は類似の部分には、同一又は類似の符号を付している。ただし、図面は模式的なものであることに留意すべきである。
(権利管理システムの構成)

本発明の実施の形態では、楽曲(音楽)に関わる著作権、実演家の権利、原盤権の3つの権利を管理し、楽曲を利用したいユーザが容易に利用許諾を得ることができると権利管理システムについて説明する。

[0024] 図1に示すように、楽曲の権利者としては、作詞家、作曲家、編曲家などの著作権21を有する著作者がいる。又、楽曲を演奏するギタリスト、ヴォーカル、キーボード、ドラマーなどの実演家の権利22を有する実演家がいる。更に、最初にレコードに楽曲を固定した大手レコード会社、インディーズ、音楽事務所、アーティストなどの原盤権23を有する原盤権者がいる。1つの楽曲に対して、上述した複数の権利が発生し、楽曲を利用するためには、それぞれの権利者の許諾を必要とする。又、著作権21、実演家の権利22、原盤権23は移転が可能であり、実際にこれらの権利を保有している者は、その楽曲を創作した著作者、演奏した実演家、レコードに固定した原盤権者とは限らない。更に、これらの権利の管理を他の管理会社などへ委託している場合がある。著作権21、実演家の権利22、原盤権23を保有あるいは管理する権利者は、ライセンスエージェントが保有する権利管理サーバ2に、楽曲の権利情報及び楽曲の利用条件を登録することにより、楽曲の利用許諾を行うことができる。権利管理サーバ2については、後に詳述する。

[0025] 一方、楽曲を利用する楽曲利用者としては、レコード会社31、飲食店等32、レンタル店33、放送局34、映画会社35、ウェブサイト36などが挙げられる。これらは権利管理サーバ2にアクセスすることにより、希望する楽曲の利用許諾を得ることができる。例えば、レコード会社31は、楽曲の複製権の許諾を得ると、その楽曲のCD41を発売することができ、飲食店等32は、楽曲の公衆送信権の許諾を得ると、その楽曲をBGMとして流すことができ、レンタル店33は、楽曲の貸与権の許諾を得ると、その楽曲のCD43を貸し出すことができ、放送局34は、楽曲の公衆送信権(放送権、有線放送権)の許諾を得ると、その楽曲を番組44で放送することができ、映画会社35は、楽曲の複製権の許諾を得ると、その楽曲を映画45の中で使用することができ、ウェブサイト36は、楽曲の送信可能化権の許諾を得ると、その楽曲をアクセスしたユーザにダウンロード46させることができる。

[0026] 本発明の実施の形態に係る権利管理システム1は、図2に示すように、インターネッ

ト(通信ネットワーク)5と、このインターネット5に接続された権利管理サーバ2、複数の端末装置3a、3b、……、3fとから少なくとも構成されている。端末装置3a、3b、……、3fは、権利管理システム1を利用するユーザの端末装置であり、このユーザには、著作権などの楽曲権利者側とレコード会社などの楽曲利用者側の両方が含まれる。

[0027] 又、端末装置3a、3b、……、3fは、携帯電話、パーソナルコンピュータの他、PHS、PDA、電子手帳等などネットワークに接続できるものを用いることが可能である。

[0028] (権利管理サーバの構成)

本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2は、図3に示すように、楽曲に関する著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバであって、楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む楽曲毎の権利情報、及び著作者、実演家及び原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持する楽曲データ保持部11と、楽曲の権利情報及び利用条件を楽曲データ保持部に登録する登録モジュール10bと、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fからアクセスがあった場合に、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fに、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する入力画面提示モジュール10cと、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fより送信された楽曲名に基づき、楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索する検索モジュール10dと、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fに、検索モジュールによって検索された楽曲の利用条件を提示する条件提示モジュール10eと、楽曲データ保持部11に保持された利用条件に応じて、著作者、実演家及び原盤権者に、楽曲利用対価を配分する対価配分モジュール10f、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fへ楽曲を配信する楽曲配信モジュール10gとを備える。

[0029] 本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2は、処理制御装置(CPU)10を有し、接続モジュール10a、登録モジュール10b、入力画面提示モジュール10c、検索モジュール10d、条件提示モジュール10e、対価配分モジュール10f、楽曲配信モジュール10gをCPU10に内蔵する構成とすることができる。これらのモジュールは、パー

ソナルコンピュータ等の汎用コンピュータにおいて、所定のプログラム言語を利用するための専用プログラムを実行することにより実現することができる。又、処理制御装置(CPU)10には、楽曲データ保持部11、プログラム保持部12、入力部13、出力部14が接続されている。

- [0030] 接続モジュール10aは、インターネット5と権利管理サーバ2を接続し、データのやりとりを行う。
- [0031] 登録モジュール10bは、著作権などの権利者側の端末装置3a、3b、……、3fから提示された楽曲の権利情報、利用条件を楽曲データ保持部11に登録する。又、権利情報等は、インターネット5を介さず、入力部13を用いて、直接、権利管理サーバ2に登録されてもよい。
- [0032] 入力画面提示モジュール10cは、レコード会社などの楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fからアクセスがあった場合に、どの楽曲をどのような条件で利用したいかを記入する入力画面を端末装置3a、3b、……、3fに提示する。
- [0033] 検索モジュール10dは、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fより送信された利用条件に基づき、楽曲データ保持部11に保持された楽曲を検索する。検索モジュール10dなどによって、権利管理サーバ2は、楽曲利用者側が提示した利用条件に合致した利用条件を提示するサーチエンジン機能を有する。
- [0034] 条件提示モジュール10eは、検索モジュール10dによって検索された楽曲の利用条件を端末装置3a、3b、……、3fへ提示する。
- [0035] 対価配分モジュール10fは、利用条件に同意した楽曲利用者が支払った利用料金を、楽曲データ保持部11に保持された利用条件に応じて、著作者、実演家及び原盤権者に配分する。具体的には、銀行の振り込み口座に料金が振り込まれているか、プロバイダの使用料金と共に料金の引き落としが完了しているか、などを確認し、著作者、実演家及び原盤権者に利用料金(対価)を配分する。
- [0036] 楽曲配信モジュール10gは、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fへ楽曲ファイルを配信する。このとき、契約内容ファイルも同時に送信するようにしてもよい。
- [0037] 楽曲データ保持部11は、権利者側の端末装置3a、3b、……、3fなどから送信された楽曲の権利情報、利用条件を保持する。又、楽曲そのものである楽曲ファイルを保

持する。

[0038] 楽曲データには、図4に示すように、楽曲名毎に、権利情報及び利用条件が記載される。権利情報としては、「権利の発生日付」、「アーティスト名」、最初に権利を保有していた者(図4における「オリジナル」)、現在の権利者(図4における「権利保有者」)、権利の管理を委託されている者(図4における「権利管理者」)などが含まれる。オリジナル、権利保有者、権利管理者には、それぞれ著作者、演奏した実演家、最初にレコードに固定した原盤権者の3つの権利が存在する。権利情報には、それぞれの権利者あるいは管理者が記載される。

[0039] 又、利用条件には、「利用許諾の可否」、「利用条件」、「利用対価」、「権利者のロイヤリティー配分」、「支払い方法」などが含まれる。著作権には、著作物を有形的に再製する複製権、複製物を貸与により公衆に提供する貸与権、著作物を無線通信又は有線電気通信によって送信する公衆送信権、インターネットなど端末(パソコン)からの個々のアクセスに応じて行われる送信(インタラクティブ送信)において、送信行為の前段階の、サーバへの入力等(アップロード)により端末からアクセスできる状態にする送信可能化権などの種々の権利がある。「利用許諾の可否」は、著作権の中のどの権利の利用を許諾するか否かを示す情報である。例えば、楽曲AAAは、複製権、貸与権について利用することが可能であり、楽曲BBBは、複製権について利用することができないが、貸与権について利用することが可能である。「利用条件」は、楽曲を利用することができる期間や回数、その対象を規定する。例えば、楽曲AAAは、2003年7月1日～2004年6月30日まで利用することができ、楽曲BBBは、100回まで利用許諾をすることができる。その他、利用許諾する対象を大手レコード会社に限るなど、様々な条件を規定することができる。「利用対価」は、楽曲を利用するため楽曲利用者が権利者へ支払う料金である。例えば、楽曲AAAでは、30万円であり、楽曲BBBでは、20万円となる。利用対価は、著作権の中の種類毎(複製権や貸与権)に設定することができる。「権利者のロイヤリティー配分」は、著作権、実演家の権利、原盤権のうち、「利用対価」の配分割合を示す。例えば、楽曲AAAでは、「利用対価」の100%を原盤権者が受け取り、楽曲BBBでは、「利用対価」の40%を著作権者が、30%を実演家の権利を有する者が、30%を原盤権者が受け取る

。「支払い方法」は「利用対価」の支払い方法を示す。例えば、楽曲AAAでは、「利用対価」を指定の銀行口座へ振り込むことが必要となり、楽曲BBBでは、プロバイダの使用料金と同時に権利管理サーバ2が提供したコンテンツ使用料金として、「利用対価」を引き落とすこととなる。その他、支払い方法として、分割支払いが可能であれば、その旨が記載されてもよい。

- [0040] 上述した権利情報及び利用条件などの楽曲データは、楽曲ファイルそのものに重畠されてもよく、楽曲ファイル中の楽曲以外のどこか(ヘッダー)など含まれてもよい。また、楽曲ファイルとは異なる別のファイルとして保持されても構わない。又、権利情報及び利用条件は、暗号化されていてもよく、暗号化されていなくてもよい。楽曲ファイルの複製・改変などの際には、常に楽曲ファイルに付随して楽曲データが継承される。
- [0041] 楽曲データ保持部11は、RAM等の内部記憶装置を用いても良く、ハードディスクやフレキシブルディスク等の外部記憶装置を用いても良い。
- [0042] プログラム保持部12は、楽曲の登録処理や入力画面提示処理、楽曲の検索処理などを処理制御装置(CPU)10に実行させるための権利管理プログラムを保存する記憶媒体である。記録媒体は、例えば、RAM、ハードディスク、フレキシブルディスク、コンパクトディスク、ICチップ、カセットテープなどが挙げられる。このようなプログラムを保持した記録媒体によれば、プログラムの保存、運搬、販売などを容易に行うことができる。
- [0043] 入力部13は、キーボード、マウス等の機器を指す。入力部13から入力操作が行われると対応するキー情報が処理制御装置(CPU)10に伝達される。入力部13は、楽曲の権利情報や利用条件などを入力することができる。出力部14は、モニタなどの画面を指し、液晶表示装置(LCD)、発光ダイオード(LED)パネル、エレクトロルミネッセンス(EL)パネル等が使用可能である。この出力部14は、楽曲データ保持部11に保持された楽曲データを表示することができる。
- [0044] 本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2によると、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができる。
- [0045] (権利管理方法及び権利管理プログラム)

次に、本発明の実施の形態に係る権利管理方法について、図5～7を用いて説明する。尚、以下において説明する権利管理方法は、プログラム保持部などに保持された権利管理プログラムを読み出し、実行することによっても実現できる。即ち、権利管理方法における各ステップは、権利管理プログラムによって実行できる各手順に対応する。

[0046] 図5は、本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2の処理動作、図6は、権利管理サーバ2と楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fとのタイムチャート、図7は、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fの画面表示例である。

[0047] (a)まず、ステップS101において、権利管理サーバ2は、楽曲の登録を行う。即ち、著作権などの権利者側の端末装置3a、3b、……、3fから提示された楽曲の権利情報、利用条件を楽曲データ保持部11に保存する。又、権利情報等は、インターネット5を介さず、入力部13を用いて、直接、権利管理サーバ2に入力されてもよい。

[0048] (b)次に、端末装置3a、3b、……、3fからアクセスがあると(図6のステップS201)、ステップS102において、権利管理サーバ2は、端末装置3a、3b、……、3fの画面に入力画面を提示する(図6のステップS202)。図7(a)は、端末装置3a、3b、……、3fに表示される入力画面例である。図7(a)に示すように、楽曲利用者は、楽曲名、アーティスト名、利用期間、予算、利用形態等を選択することができる(図6のステップS203)。例えば、予算を「30万円」以下と設定することにより、この予算に合致した楽曲が検索される。このように、本実施形態に係る権利管理方法は、楽曲利用者側が提示した利用条件に合致した利用条件を提示するサーチエンジンを行うことができる。

[0049] (c)次に、ステップS103において、権利管理サーバ2は、楽曲の検索処理を行う。即ち、楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fより送信された利用条件に基づき、楽曲データ保持部11に保持された楽曲を検索する。例えば、楽曲利用者が、楽曲Aを選択した場合は、楽曲データ保持部11に保存された情報の中から、楽曲Aを検索する。このとき、利用期間、予算、利用形態が指定されている場合は、それらの条件に合致した楽曲データを検索する。

[0050] (d)次に、ステップS104において、権利管理サーバ2は、端末装置3a、3b、……、

3fの画面に条件を提示する(図6のステップS204)。図7(b)は、端末装置3a、3b、……、3fに表示される条件提示画面例である。図7(b)では、楽曲Aを利用できる期間は、2003年7月1日～2004年6月30日、利用形態は貸与で、料金は30万円、支払い方法は銀行振り込みであることが提示されている。楽曲利用者は、提示された利用条件に同意するか否か判断し、端末装置3a、3b、……、3fに表示された「同意する」あるいは「同意しない」ボタンをクリックする。(図6のステップS205)。

[0051] (e) 楽曲利用者側の端末装置3a、3b、……、3fから「同意する」旨の情報が送信された場合、ステップS105において、権利管理サーバ2は対価配分処理を行う。即ち、権利管理サーバ2は、楽曲データ保持部11に保持された利用条件の中の「支払い方法」を参照し、所定の銀行サーバから振り込み情報を受信あるいは参照し、料金の支払いは行われたことを確認する。そして、利用条件の中の「権利者のロイヤリティ分配」を参照し、利用対価を著作者、実演家、原盤権者に配分する。例えば、図4に示す楽曲Aであれば、利用対価30万円を原盤権者に配分する。楽曲Bであれば、利用対価20万円の40%を著作者に、30%を実演家に、30%を原盤権者に配分する。又、権利が移転され、「権利保有者」の欄に権利者の名前が記載されている場合は、著作権、実演家の権利、原盤権の各権利者へ利用対価を配分する。又、権利の管理を委託しており、「権利管理者」の欄に管理者の名前が記載されている場合は、著作権、実演家の権利、原盤権の各管理者へ利用対価を配分する。利用対価の割り振り先は、オリジナルの著作者、実演家、原盤権者、権利保有者としての著作権者、実演家の権利を有する者、原盤権者、著作権、実演家の権利、原盤権の各管理者が存在し、権利管理サーバ2は、この9人(9社)のどこに、いくら利用対価を配分するかを把握する。

[0052] (f) 次に、ステップS106において、権利管理サーバ2は、端末装置3a、3b、……、3fに楽曲配信処理を行う(図6のステップS206)。図7(c)は、端末装置3a、3b、……、3fに表示される楽曲配信画面例である。図7(c)では、楽曲ファイルと共に、契約内容が添付されて配信されている。契約内容には、利用できる権利に対する権利情報や利用条件が記載される。このように契約内容が添付されることにより、権利を利用できることの立証を容易化することができる。

[0053] 本発明の実施の形態に係る権利管理方法によると、楽曲に関する著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができる。

[0054] (本実施形態に係る権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラムの作用及び効果)

従来、利用者が楽曲を利用するためには、その楽曲の権利者を探し、利用条件を定め、対価を支払うというステップが曲毎に必要であった。本実施形態に係る権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラムによると、楽曲の権利情報や利用条件が容易に参照できることで、許諾作業を大幅に簡略化させることができる。特に、携帯電話の呼び出し音として、メロディだけでなく歌手などの音声も入った楽曲音をダウンロードして使用する場合(いわゆる「着うた」という。)、上述した著作権、実演家の権利、原盤権の利用許諾が必要となり、権利管理サーバ2を使用する効果が高い。

[0055] 又、利用者と権利者との間に、利用者個々の意見を代弁しない第三者が介入する可能性を排除できる。このような第三者が存在しないので、直接権利者へ利用対価の支払いを行うことができ、権利者の収益が増えるという利点もある。

[0056] 又、権利者名と権利発生の時間が明確に保持されているため、盗作などの権利侵害の対策となる。

[0057] 更に、上述した権利管理サーバ、権利管理方法及び権利管理プログラムの仕組みにより、権利情報及び利用条件などが参照可能になった楽曲を映像のBGMなどに利用する場合、新たに権利が発生する。この権利情報及び利用条件を付加することにより、楽曲を扱う様々なコンテンツデータの一括管理が可能になる。

[0058] (その他の実施の形態)

本発明は上記の実施の形態によって記載したが、この開示の一部をなす論述及び図面はこの発明を限定するものであると理解すべきではない。この開示から当業者には様々な代替実施の形態、実施例及び運用技術が明らかとなろう。

[0059] 例えば、本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2において、図3に示すように、楽曲データ保持部11、プログラム保持部12を分けて備えると説明したが、一つの保持部で共用しても構わない。又、本発明の実施の形態に係る権利管理サーバ2は

、接続モジュール10a、登録モジュール10b、……、楽曲配信モジュール10gを一つの処理制御装置(CPU)10内にあるとして説明したが、それらが二つあるいはそれ以上の処理制御装置に分かれても構わない。その際はこれらの処理制御装置間でデータのやりとりが行えるようにバスなどで装置間を接続しているとする。

[0060] 又、本発明の実施の形態に係る権利管理方法において、支払い確認処理を行った後に楽曲配信処理を行うと説明したが、料金を支払う前に楽曲配信処理を行ってもよい。

[0061] 又、図7(b)において、利用可能期間、利用形態等を画面に表示すると説明したが、その他、権利者の名前など楽曲の権利情報及び利用条件を表示するようにしても構わない。

[0062] 又、本発明の実施の形態では、楽曲(音楽)データを取り上げて説明を行ったが、楽曲に加え、画像データを含むファイルをダウンロードする際の許諾作業に、本発明を用いても構わない。この画像データは、静画データでも動画データでも構わない。更に、ゲームソフトなどのコンピュータアプリケーションをダウンロードする際の許諾作業に、本発明を用いても構わない。

[0063] このように、本発明はここでは記載していない様々な実施の形態等を含むことは勿論である。従って、本発明の技術的範囲は上記の説明から妥当な特許請求の範囲に係る発明特定事項によってのみ定められるものである。

産業上の利用の可能性

[0064] 以上のように、本発明に係る権利管理サーバは、楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の、3つの権利の利用許諾を容易に得ることができるために、楽曲をダウンロードする際の許諾作業に対して有用である。

請求の範囲

[1] 楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持する楽曲データ保持部(11)と、

前記楽曲の権利情報及び利用条件を前記楽曲データ保持部(11)に登録する登録モジュール(10b)と、

楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する入力画面提示モジュール(10c)と、

前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部(11)に保持された楽曲を検索する検索モジュール(10d)と、

前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索モジュール(10d)によって検索された楽曲の利用条件を提示する条件提示モジュール(10e)と、

前記楽曲データ保持部(11)に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分する対価配分モジュール(10f)と、

前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する楽曲配信モジュール(10g)とを備えることを特徴とする権利管理サーバ。

[2] 前記楽曲データ保持部(11)は、前記著作権、前記実演家の権利及び前記原盤権の移転後の各権利者名、あるいは、前記著作権、前記実演家の権利及び前記原盤権の管理を委託された各管理者名を含む権利情報、及び、前記移転後の各権利者、あるいは、前記各管理者がそれぞれ受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持し、

前記対価配分モジュール(10f)は、前記楽曲利用対価を、前記移転後の各権利者、あるいは、前記各管理者に配分する

ことを特徴とする請求項1に記載の権利管理サーバ。

[3] 前記入力画面提示モジュール(10c)は、利用を希望する楽曲の利用条件を入力する画面を前記楽曲利用者側の端末装置に提示し、
前記検索モジュール(10d)は、前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名及び利用条件に基づき、前記楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索することを特徴とする請求項1又は2に記載の権利管理サーバ。

[4] 前記楽曲配信モジュール(10g)は、楽曲の利用条件を記載した契約内容ファイルを添付して、楽曲を配信することを特徴とする請求項1ー3のいずれか1項に記載の権利管理サーバ。

[5] 楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバ(2)が、
樂曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を楽曲データ保持部(11)に登録するステップと、
樂曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示するステップと、
前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部(11)に保持された楽曲を検索するステップと、
前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索するステップによって検索された楽曲の利用条件を提示するステップと、
前記楽曲データ保持部(11)に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分するステップと、
前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信するステップと
を含むことを特徴とする権利管理方法。

[6] 楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバ(2)に、
樂曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家

の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を楽曲データ保持部(11)に登録する手順と、

楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する手順と、

前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部(11)に保持された楽曲を検索する手順と、

前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索する手順によって検索された楽曲の利用条件を提示する手順と、

前記楽曲データ保持部(11)に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分する手順と、

前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する手順と

を実行させることを特徴とする権利管理プログラム。

補正書の請求の範囲

J P 2 0 0 4 / 0 1 1 8 9 9

補正書の請求の範囲 [2004年11月24日(24. 11. 04)国際事務局受理:出願当初の請求の範囲1、5及び6は補正された;他の請求の範囲は変更なし。(4頁)]

請求の範囲

1. (補正後) 楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合と、著作権の中のどの権利の利用を許諾するか否かを示す情報を含む利用条件を保持する楽曲データ保持部(11)と、

前記楽曲の権利情報及び利用条件を前記楽曲データ保持部(11)に登録する登録モジュール(10b)と、

楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する入力画面提示モジュール(10c)と、

前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部(11)に保持された楽曲を検索する検索モジュール(10d)と、

前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索モジュール(10d)によって検索された楽曲の利用条件を提示する条件提示モジュール(10e)と、

前記楽曲データ保持部(11)に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分する対価配分モジュール(10f)と、

前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する楽曲配信モジュール(10g)と

を備えることを特徴とする権利管理サーバ。

2. 前記楽曲データ保持部(11)は、前記著作権、前記実演家の権利及び前記原盤権の移転後の各権利者名、あるいは、前記著作権、前記実演家の権利及び前記原盤権の管理を委託された各管理者名を含む権利情報、及び、前記移転後の各権利者、あるいは、前記各管理者がそれぞれ受け取る楽曲利用対価の割合を含む利用条件を保持し、

前記対価配分モジュール(10f)は、前記楽曲利用対価を、前記移転後の

各権利者、あるいは、前記各管理者に配分する
ことを特徴とする請求項 1 に記載の権利管理サーバ。

3. 前記入力画面提示モジュール（10c）は、利用を希望する楽曲の利用条件を入力する画面を前記楽曲利用者側の端末装置に提示し、

前記検索モジュール（10d）は、前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名及び利用条件に基づき、前記楽曲データ保持部に保持された楽曲を検索する

ことを特徴とする請求項1又は2に記載の権利管理サーバ。

4. 前記楽曲配信モジュール（10g）は、楽曲の利用条件を記載した契約内容ファイルを添付して、楽曲を配信することを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の権利管理サーバ。

5.（補正後）楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管理するサーバ（2）が、

楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合と、著作権の中のどの権利の利用を許諾するか否かを示す情報を含む利用条件を楽曲データ保持部（11）に登録するステップと、

楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示するステップと、

前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部（11）に保持された楽曲を検索するステップと、

前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索するステップによって検索された楽曲の利用条件を提示するステップと、

前記楽曲データ保持部（11）に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分するステップと、

前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信するステップと
を含むことを特徴とする権利管理方法。

6.（補正後）楽曲に関わる著作権、実演家の権利及び原盤権の利用許諾を管

理するサーバ（2）に、

楽曲を創作した著作者が有する著作権、該楽曲を演奏した実演家が有する実演家の権利及び該楽曲を最初にレコードに固定した原盤権者が有する原盤権の3つの権利の権利者名を含む前記楽曲毎の権利情報、及び前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者それぞれが受け取る楽曲利用対価の割合と、著作権の中のどの権利の利用を許諾するか否かを示す情報を含む利用条件を楽曲データ保持部（11）に登録する手順と、

楽曲利用者側の端末装置からアクセスがあった場合に、前記楽曲利用者側の端末装置に、利用を希望する楽曲名を記入する入力画面を提示する手順と、

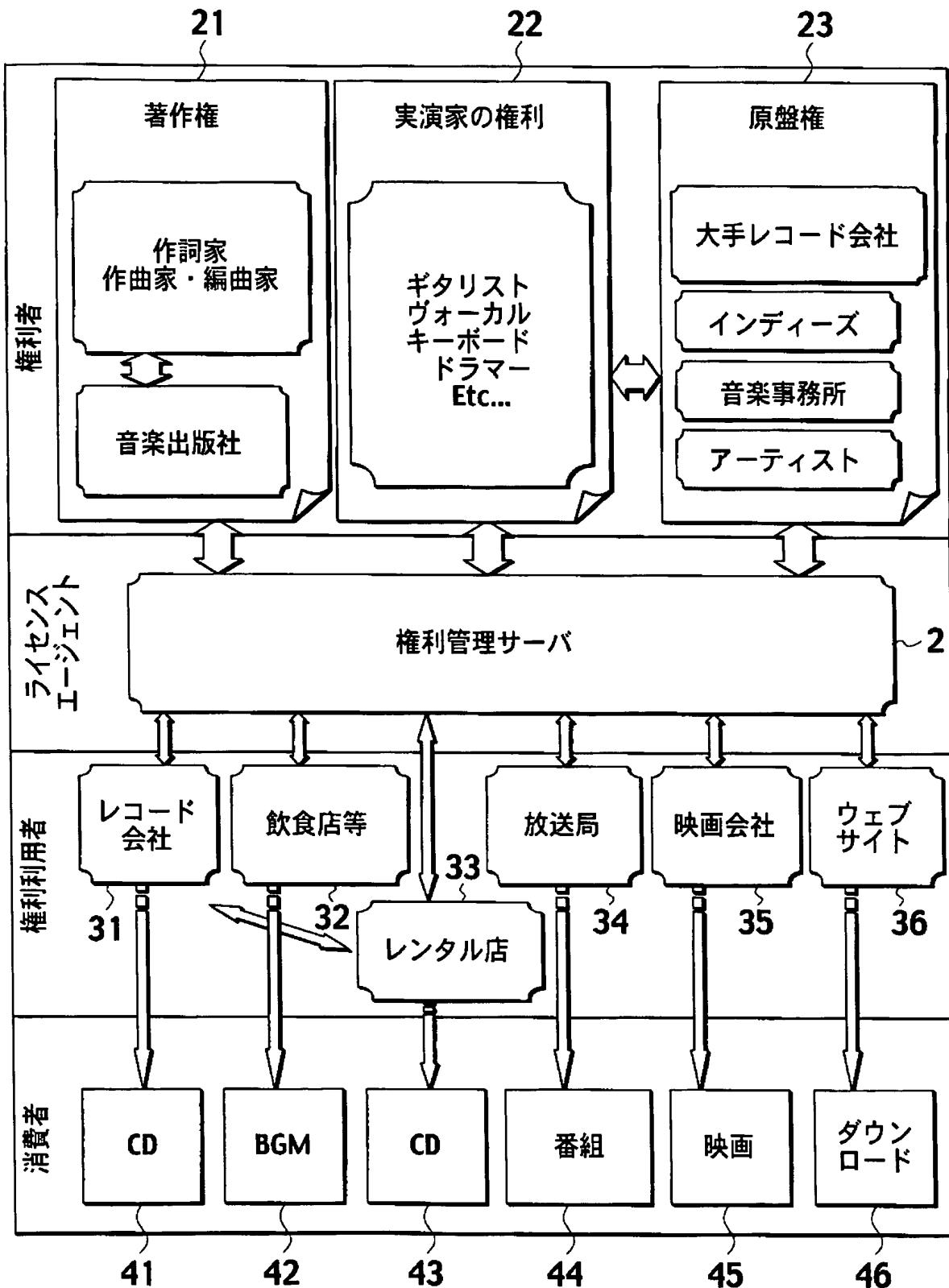
前記楽曲利用者側の端末装置より送信された楽曲名に基づき、前記楽曲データ保持部（11）に保持された楽曲を検索する手順と、

前記楽曲利用者側の端末装置に、前記検索する手順によって検索された楽曲の利用条件を提示する手順と、

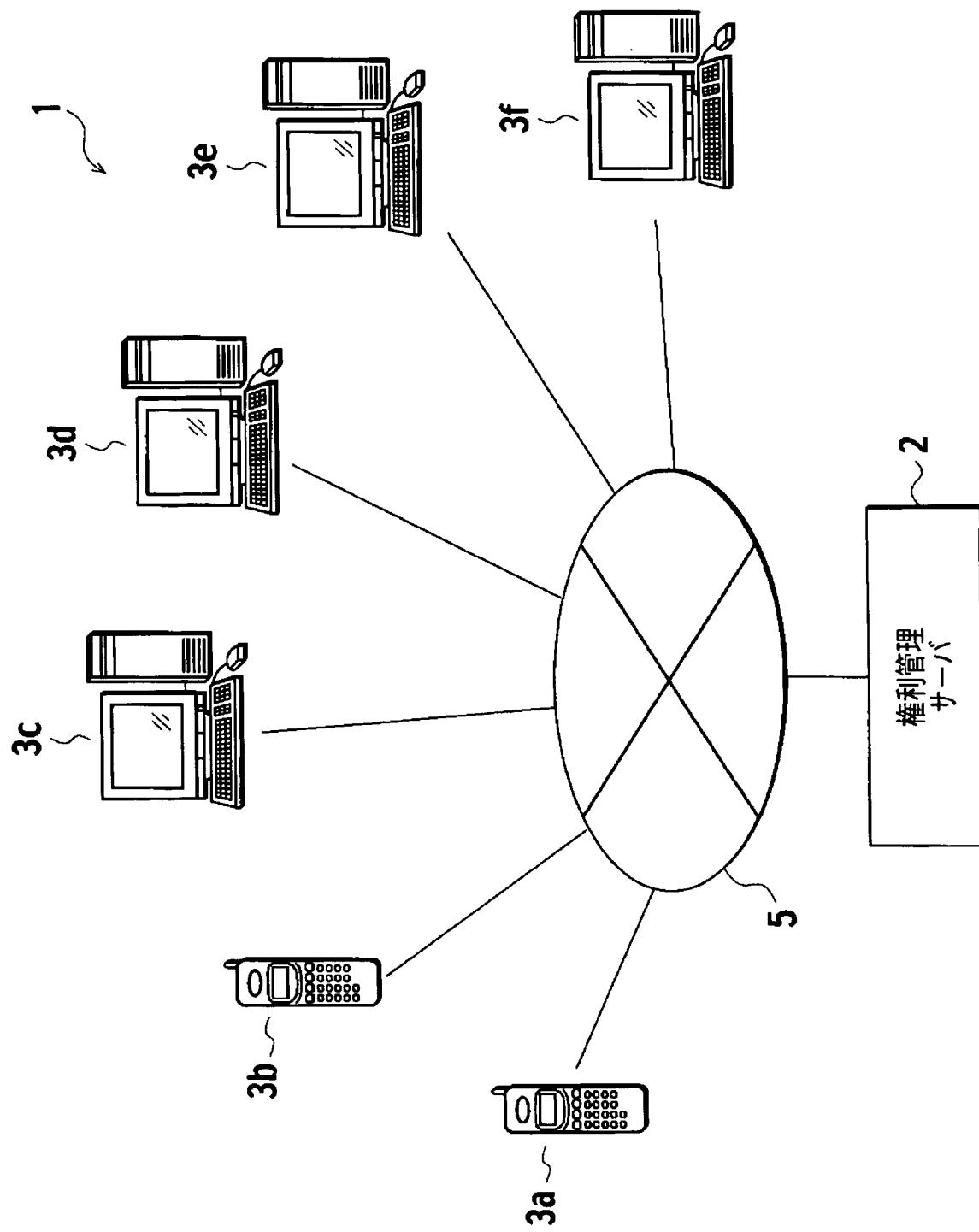
前記楽曲データ保持部（11）に保持された利用条件に応じて、前記著作者、前記実演家及び前記原盤権者に、前記楽曲利用対価を配分する手順と、

前記楽曲利用者側の端末装置へ楽曲を配信する手順と
を実行させることを特徴とする権利管理プログラム。

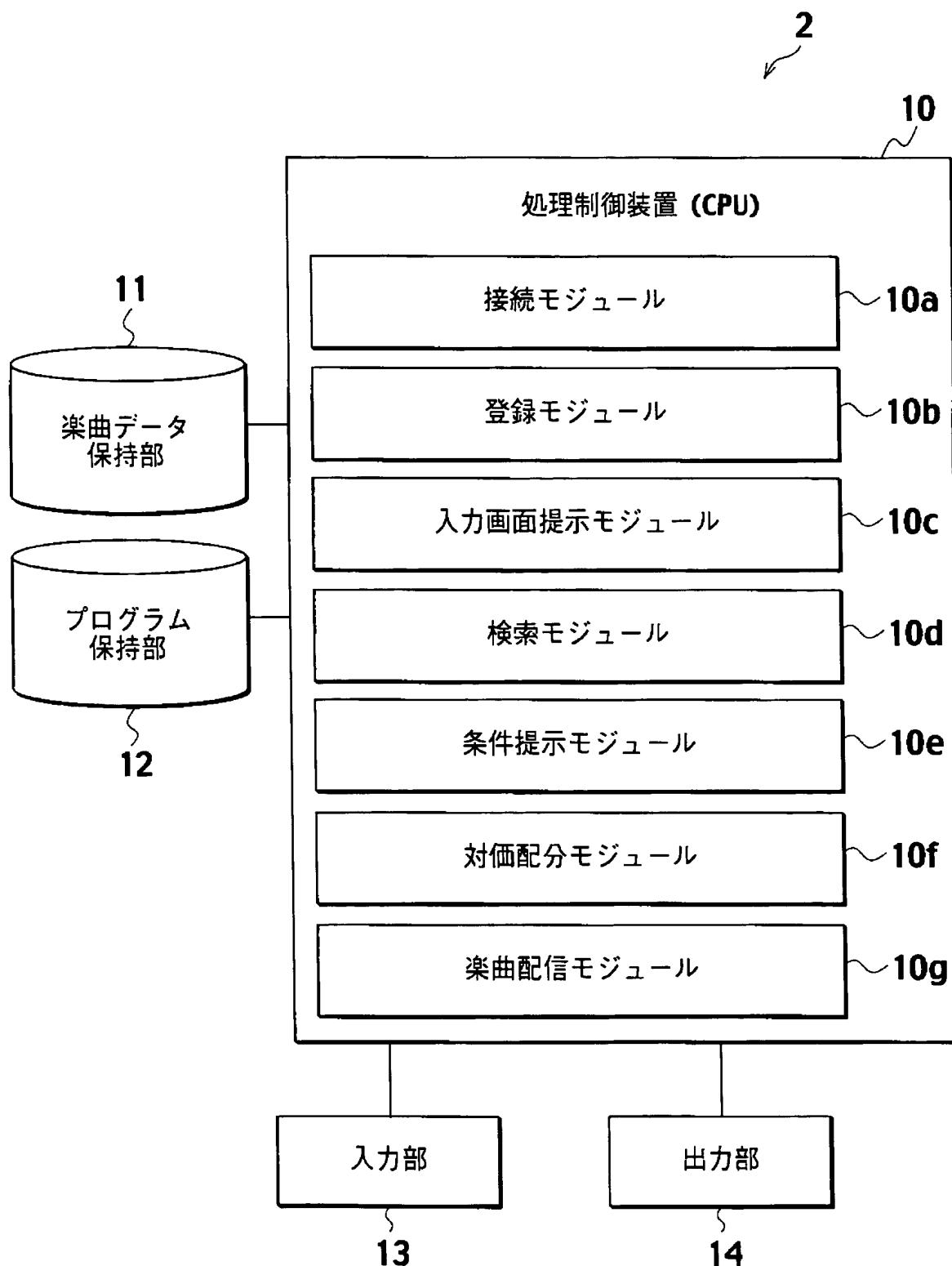
[図1]



[図2]



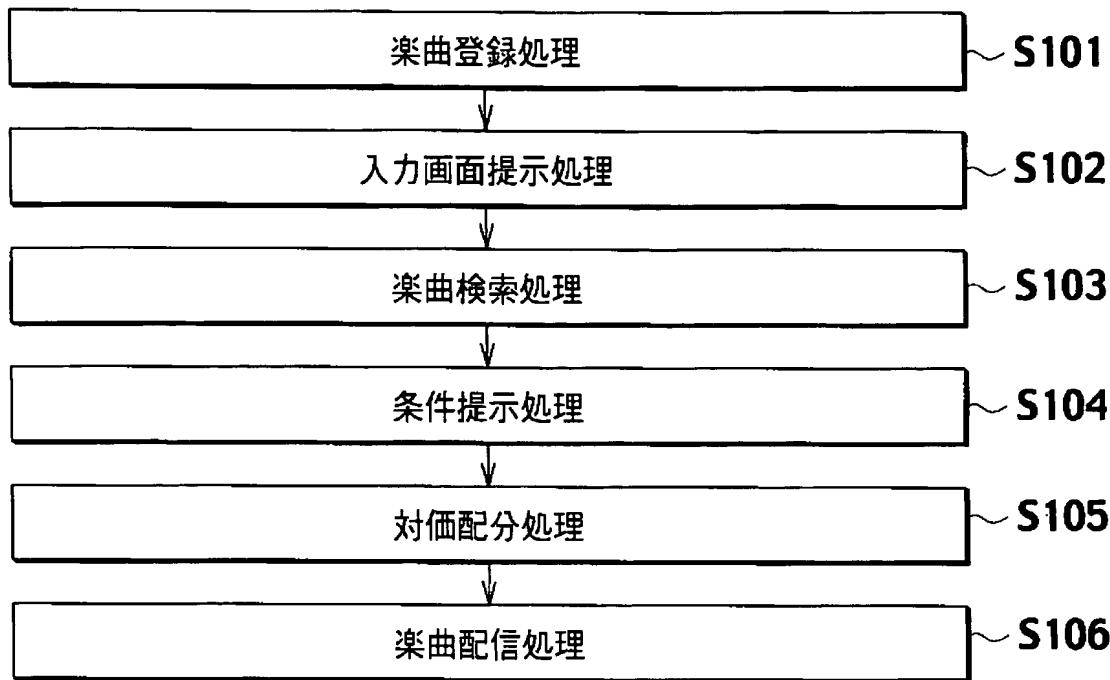
[図3]



[図4]

楽曲名		楽曲A	楽曲B
権利情報	発生日付	2003/3/1	1999/6/8
アーティスト名		AAA	BBB
オリジナル	著作者 実演家 原盤権者	… … …	… … …
権利保有者	著作者 実演家 原盤権者	… … …	… … …
権利管理者	著作者 実演家 原盤権者	… … …	… … …
利用条件	利用許諾可否 利用条件 利用対価 権利者のロイヤリティ一配分 支払い方法	複製：可 2003/7/1 ~ 2004/6/30 30万円 原：100 % 銀行口座への振り込み	貸与：可… 100回まで 20万円 著：40 %、実：30%、原：30% 引き落とし

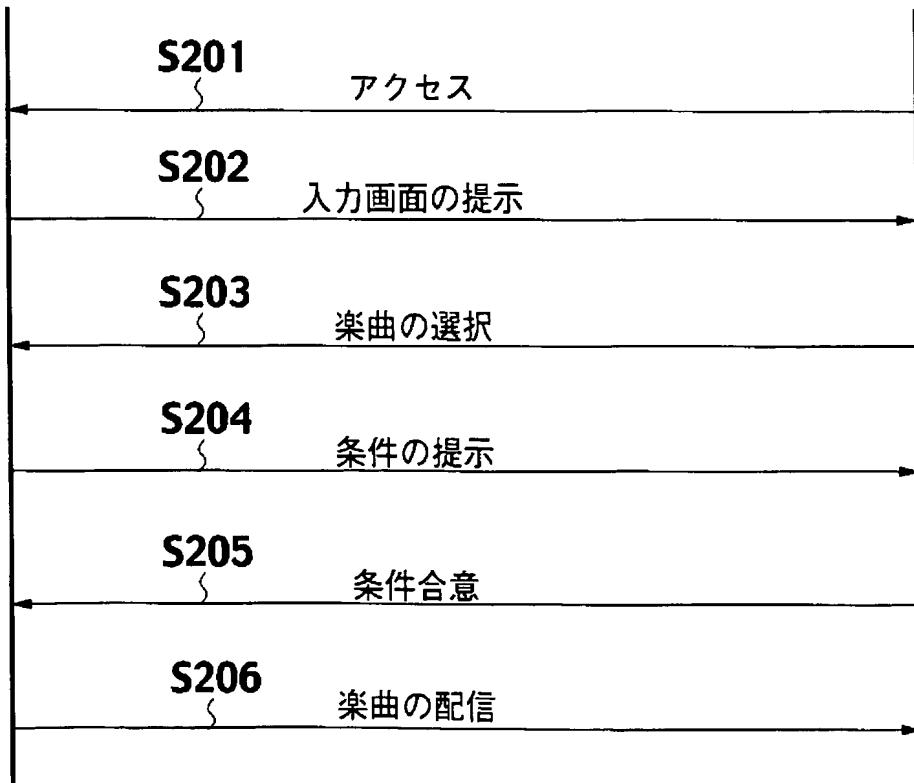
[図5]



[図6]

2 権利管理サーバ

3 端末装置



[図7]

(a)

権利管理コンテンツへようこそ！！

ご希望の楽曲及び契約条件をご記入ください。

楽曲名： ご利用期間： ~

アーティスト名： ご予算： 円以下

ご利用形態： 複製 貸与

送信可能化

検索

リセット

(b)

権利管理コンテンツへようこそ！！

以下の条件でご希望の楽曲がご利用できます。

楽曲名： 楽曲A アーティスト名： AAA

利用可能期間： 2003/7/1 ~ 2004/6/30 利用形態： 貸与

料金： 30 万円 支払い方法： 月 日までに ××銀行
口座番号△△△△△へ振り込み

同意する

同意しない

(c)

権利管理コンテンツへようこそ！！

ご利用ありがとうございました。

楽曲名： 楽曲A アーティスト名： AAA

利用可能期間： 2003/7/1 ~ 2004/6/30 利用形態： 貸与

楽曲
ファイル

再生

契約
内容

表示